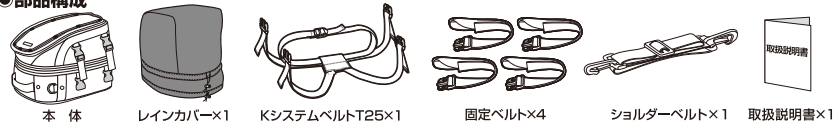


Wデッキシートバッグ 取扱説明書

- この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
- この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。

●部品構成



補修パーツ (消耗品パーツ) のご案内

部品番号	名 称	セット数
MP-303	KシステムベルトT25	1本
MP-123	固定ベルト	1本
MP-235	レインカバー	1個
MP-12	ショルダーベルト	1本
●オプション MP-124	接続バックル	1個
MP-295	ベルト止めストッパー	5個

■お求めはお近くの「モトフィス」取扱店またはWeb上にてご注文ください。

バイクへの取付方法

シートへの取り付け ●Kシステムベルトを使用します。

- シートを取り外し、図のようにKシステムベルトをシート裏にロゴが見えるようにして位置を決め、シートの突起を避けるようにグレーのベルトにシートを差し込みます。

グレーのベルトにシートを差し込む
シート裏側
ロゴ
 - シート表側でシート固定用のグレーのベルトを締めてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトが引きやすい場所に調整出来ます。

グレーのベルトを引いて固定
シート固定ベルト
シート表側
バッグ固定ベルト
- 注意** バックルの裏表を間違とうと装着できません。
- 注意** ベルトがしっかり固定されていないとベルトがずれて安定しません。

- シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。(この時に固定用のバックルのついた4本のベルトをシートの外に上向きになるように出してください。)

警告 ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようにご注意ください。

注意 ベルトがねじれてバックルの向きが変わると固定できません。ベルトがねじれて挟まれないか注意して、シートを戻してください。
- バッグのバックルにKシステムベルトバックルを差し込み固定します。不安定にならないように先に前の左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後ろの左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。

バックルを接続
締める

注意 余ったベルトはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないよう、安全な部分に巻き付けるかオプションのベルト止めストッパー等でまとめてください。

フレームへの取り付け ●固定ベルトを使用します。

- 固定ベルトのループを使用して下図を参考にバイクに取り付けます。
 - 固定ベルトのバックルをガイドループを通して、本体のバックルに接続します。バッグが前後左右均等のテンションになるようベルトを締めて調整します。

●荷掛けフック ●フレームパイプ ●荷掛けベルト
バックルを接続
締める
- 警告** あまったベルトはホイールやチェーン等可動部分に絶対に接触しないよう、安全な部分に巻き付けるかオプションのベルト止めストッパー等でまとめてください。
- 注意** ●バックルの裏表を間違とうと装着できません。
●車体の温度が高い部分(エンジンやマフラー等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。
●「Kシステムベルト」と「固定ベルト」は併用出来ません。

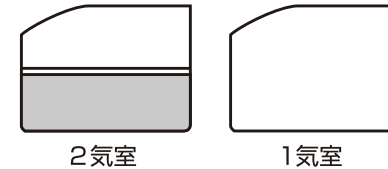
▲ 取付上の注意

- シート、テールカウル、ウィンカーの形状等により、まれに本製品を装着できない場合があります。事前に取付車面の形状を良くご確認の上、ご購入ください。●バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取付位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。●走行による振動等でKシステムベルトは緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- バッグ本体やベルト、バックル等が車面に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィスプロテクターシート)・別売等その部分を保護する事をお勧めします。●エンジン・マフラー等、車体の熱くなる部分には絶対に触れる事の無い様に装着してください。●車両の回転部分・可動部分(ホイール・チェーン等)に絶対に触れないよう装着すること。
- バッグを使用しない時に(バッグやベルト等を長時間シートに取付けた状態で、色移りする場合がございます。特に暑い夏場等はこまめに取り外してください。●Kシステムベルト等に傷やつづれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)●本製品を改造して取り付けないでください。

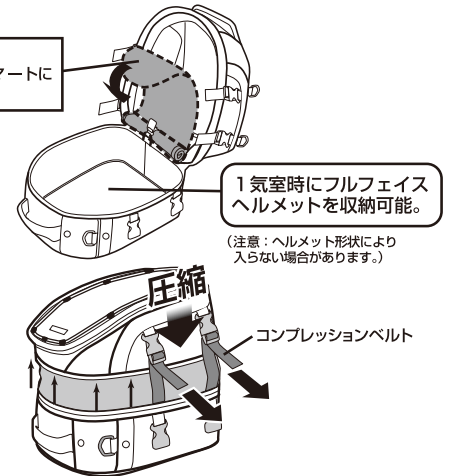
バッグの使用方法

1 Wデッキ構造

バッグ内部の仕切りを使用することで、2気室と1気室に使い分けできます。



内部仕切りはロール状にスマートに収納できます。

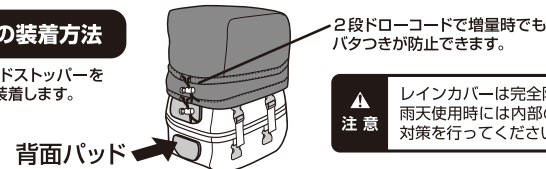


2 簡単容量可变

- ・バッグ中央のファスナーを開けることで素早く容量がアップします。
- ・コンプレッションベルトを使用し調整が出来ますので、荷物の横揺れを押さえられます。

レインカバーの装着方法

レインカバーはコードストッパーを背面パッド側にして装着します。



注意 レインカバーは完全防水ではありません。雨天使用時には内部の荷物を予めビニール袋に入れる等の対策を行ってください。

オプションパーツ(別売り)の使用方法

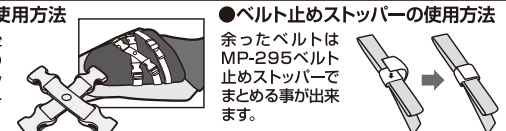
●バックパックの使用方法

MP-12ショルダーベルト(別売)を追加すればバックパックとして使用出来ます。



●接続バックルの使用方法

バッグを取り外した後の固定ベルトは別売りのMP-124接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。



▲ 使用上の注意

- 荷物の無理な押し込みは確実な装着を妨げる恐れがあるので避けください。●荷物は前後左右均等に位置、重量をバランスよく収納してください。●法定速度の範囲でご使用ください。●林道や砂利道など荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。常に緩みチェックを行い路面の状況に充分注意して走行してください。●使用中に異常を感じたら直ちに車両を安全な場所に停止し、バッグを確認してください。破損している場合は、使用を中止してください。●本製品の最大収納重量7.0kgです。最大積載重量を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるので避けください。また、車両の積載量を超えないよう積載してください。●容量と重さは比例しません。車両の制限や法規上の制限をお守りください。●素材の性質上、鋭利な物(ハサミ等)や突起物(ドライバー等)を収納した場合、本体が破ける場合がありますので収納しないでください。●火災の原因になりますので、携帯ガソリンポル、ガスボンベ等引火性の強い危険物は収納しないでください。●レインカバーは付属してありますが、完全防水ではありません。水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切な荷物はビニール袋等と併用し、より高度な防水対策をお勧めします。また走行風によるレインカバーのガタつきは市販のコード又は、モトフィスキャリアリングコード等で固定してください。●バッグは生地や縫製方法など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、フックやバックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをする等破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。●本製品を長時間取り付けていると色移りする事がございます。特に暑い場所等は本製品を装着したまま放置しないでください。●寸法、容量等の表記に付きましては、個体別の誤差が生じる場合がございますのでご了承ください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

保管と お手入れ の方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

▲ 注意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますので避けください。